

編 集 後 記

石炭産出によるエネルギー革命と、それが、太平洋戦争と敗戦後の再興に密接に関係する事により、この街美唄は、極めて、大きな変動を経験する事になりました。美唄歯科医師会の歴史は、勿論、それと不可分の関係にありました。三井、三菱の炭鉱病院の歯科に勤務された、多くの先生が、入退会されましたが、比較的短期間にとどまる為、記述が十分であったか、懸念されるところです。会を担った、諸先輩の紹介に多くの頁が割かれてましたが、やむを得ぬところかとも思います。それとても、内面的な苦悩まで表現する事はかなわず、なした仕事の量と時間の長さに、又、その生死のドラマに凝縮された思いを推し量るのみであります。

創成の頃の資料、はなはだ乏しい中、今もって、会の中心でご活躍の雨田前会長、宝崎幸子先生、扇谷前専務理事、桜田昭美事務長の御記憶が頼りでありました。とりわけ、雨田先生の長年にわたる道歯会通信への投稿文と記述の蓄積に多く依存する事になりました。宝崎錠二会長は、強い責任感と、リーダーシップのもと、遅々として進まぬ状況に活をいれ、励ましてくれました。大坪専務理事はその困難な状況のもとに、細やかな配慮をもって支えてくれました。平隆一先生の発刊へのアドバイスと下準備がなければ、今回も見送りになっていた可能性があります。

その他、いちいち名前は記さないが諸会員の先生の優しい心情はこの短期間の突貫作業に心よく御協力いただいた事にあらわれており、感謝にたえません。

又、編纂・印刷に係わる助言を頂きました岸山印刷株式会社 岸山一郎氏に厚くお礼申し上げます。

最後に改めて、皆様の御支援のもと、まがりなりにも発刊のはこびとなった事に改めて感謝申し上げますと共に、不十分なところがあるとすれば、編集委員長たる小生の責任であります。

記念誌編集委員長 小 森 英 世

美唄歯科医師会50年の歩み編集委員会

実行委員長	宝 崎 錠 二
編集委員長	小 森 英 世
幹 事	大 坪 義 和
委 員	宝 崎 幸 子
委 員	平 隆 一
委 員	扇 谷 明 典
委 員	桜 田 昭 美
相 談 役	雨 田 実

五十年のあゆみ

平成10年12月1日発行

発行者	美唄歯科医師会会長 宝崎錠二
編集者	五十周年記念誌編集委員会 編集責任者 小森英世
発行所	社団法人 美唄歯科医師会
印刷所	岸山印刷株式会社
